

平成29年度第3回SPODネットワークコア運営協議会 議事次第

日 時：平成29年7月5日（水）15：30～16：30

場 所：愛媛大学 共通講義棟B 2階 社会共創学部会議室

議 題：

1. SPOD事業評価について

- ・平成28年度SPOD事業評価委員会からの指摘事項に対する対応策について 【資料1】 P1
- ・平成28年度SPOD事業の評価について 【参考資料1-1】 P3
- ・「四国地区大学職員能力開発ネットワーク」（SPOD）事業評価委員会実施要項  
【参考資料1-2】 P9

2. SPODフォーラムについて

- ・SPODフォーラム2017チラシ 【資料2-1】 P11
- ・SPODフォーラム2017申込み状況について（学校別） 【資料2-2】 P13
- ・SPODフォーラム2017申込み状況について（プログラム別） 【資料2-3】 P15
- ・SPODフォーラム2017ポスターセッション申込み一覧 【資料2-4】 P17
- ・SPODフォーラム2017実施要項 【参考資料2-1】 P19
- ・SPODフォーラム2017ポスター発表募集要項 【参考資料2-2】 P21

3. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員の改選について

- ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員の改選について（案） 【資料3】 P25
- ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿（平成29年4月1日現在）  
【参考資料3】 P27

4. 研修プログラムガイドの見直しについて

- ・研修プログラムガイドの見直しの概要（案） 【資料4】 P29
- ・研修プログラムガイド（リーフレット化）のイメージ（案） 【参考資料4】 P31

5. SPOD内講師派遣について

- ・SPOD内講師派遣プログラム希望状況一覧（平成23～29年度） 【資料5】 P35
- ・平成29年度SPOD内講師派遣プログラム一覧 【参考資料5-1】 P37
- ・平成28年度SPOD内講師派遣事業についてのアンケート集計結果 【参考資料5-2】 P39

6. 平成30年度における負担金の算定方法について

- ・平成30年度の負担金算定に係る平成29年5月1日現在の教職員数調査について  
【資料6-1】 P43
- ・SPOD加盟校教職員数回答票 【資料6-2】 P45

7. 新任教員研修の開催について

- ・学生の学びを支援する授業準備ワークショップ実施要項&チラシ 【資料7-1】 P47
- ・よりよい授業のためのFDワークショップ実施要項 【資料7-2】 P53

8. ファカルティ・ディベロッパー&SDコーディネーター（SDC）養成講座について

- ・ファカルティ・ディベロッパー&SDコーディネーター（SDC）養成講座チラシ（案）  
【資料8】 P57

9. その他

平成28年度SPOD事業評価委員会からの  
指摘事項に対する対応策について（案）

■平成28年度事業評価委員会からの意見まとめ

※ 第1回SPODネットワークコア運営協議会資料3

「平成28年度SPOD事業の評価について」参照（参考資料1）

■平成28年度事業評価委員会からの指摘事項のポイント（案）

1. FD・SDプログラムの充実

- ・ 新任教員研修プログラムの方法や発展について検討してみてはどうか。  
（例：レクチャー部分の動画化による反転型研修の実施など）
- ・ FDプログラムにおいて、CD（カリキュラム改善）やOD（組織の整備・改革）をいかに充実させるかが課題であろう。
- ・ 「戦略的プランニング」の手法を学ぶことができるプログラムを導入できるとよい。
- ・ 研修料の値上げに伴い、研修を担当する講師のクオリティには注意を払っておいたほうが良いだろう（特にSPOD内育成）。
- ・ 「職員のための講師養成講座」「次世代リーダー養成ゼミナール」「SPOD-SDC」の各取組の目的と相互の関連性を説明づけるよう見える化を図ってはどうか。

2. SPOD事業に対する各加盟校（特に私立大学）の関わり

- ・ FDプログラムへの私立大学の参加が少ない。
- ・ SDプログラムにおいても、私立大学からの参加者を多くすることができる企画を検討できないか。
- ・ SPOD事業の定量的指標達成度一覧に加え、加盟校毎に同じような枠組みで確認することができれば、加盟校がSPODをどのように活用しているのかの状況を量的に把握することができる。
- ・ SPODの各事業に対する加盟各校の参加度合の状況について集計・把握し、学校名が特定できないように配慮しつつ、加盟校の参加底上げに向けた基礎資料としてはどうか。

3. 調査・研究の実質化

- ・ 事業の客観化と有意性に説得力を付与する意味でも有用な取組である。
- ・ 加盟校に対してアンケートとヒアリングを実施する等して、SPODに対する加盟校のニーズや期待を把握する機会を設けることにより、今後の取組の一助とすることができるのではないか。

4. SPOD事業評価の在り方

- ・ 「SPODの将来構想について」により中長期の方針が策定され、構想や計画が固まっていく中、それをどのように改善につなげていくか議論の余地があると思われる。「評価」という言葉にこだわる必要もなく、例えば「SPOD事業モニター会議」のような名称でディスカッションを設けるといったことはできるかもしれない。

■平成29年度第1回ネットワークコア運営協議会での意見交換の内容

- 1) 新任教員研修プログラムの方法や発展の例として提案のあった「反転授業」について、徳島大学では今年度の新任教員研修において導入予定のため、その効果についても研修事後アンケートにおいて検証し、結果報告ができると考えている。
- 2) SPOD加盟校のうち私学の利用が少ないことについて指摘があったことに対しては、何らかのケアが必要なのではないか。
- 3) SPOD加盟校のニーズや期待を把握する機会を設けるという点については、県内加盟校会議や例年SPOD総会後に実施しているFD／SD分科会等の場を利用するとよいのではないか。

## ■今後の対応について（案）

### 1. FD・SDプログラムの充実

- (1) 新任教員研修プログラムの方法や発展の例として提案のあった「反転授業」について、徳島大学において平成29年度の新任教員研修での導入を試みる。研修実施後、その効果検証を行い、各コア校にフィードバックを行う。
- (2) CD（カリキュラム改善）のためのプログラムとして、新たに「3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー；アセスメント・ポリシー）の開発と一貫性構築」を開講する。また、OD（組織の整備・改革）については、SPOD内講師派遣事業において設定している「SPOD課題発見コンサルテーション」の活用を促進する。
- (3) 「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅢ）」において、課長、課長補佐相当級の職員を対象に、新たに「戦略マネジメント論」を開講する。
- (4) SPODでは、SPOD-SDの取組の一つとして「職員のための講師養成講座」を開講し、SPOD内講師の養成に努めている。SPOD内講師が実際に講師を行う場合は、本講座や「次世代リーダー養成ゼミナール」の修了者等の中から本人の素養と研修の内容のマッチングを行いながらSD担当教職員が講師を選定した上で、研修の質保証のため、研修教材作成の支援や事前レクチャー等を行っている。さらに、各研修プログラム終了後には受講者アンケートを行い、次の研修に活かしている。こうしたPDCAサイクルを活用しながら、今後も研修プログラム及び講師の質向上に努めていく。
- (5) 新たに「次世代リーダー養成ゼミナール」のパンフレットを作成してSPODウェブサイト等で周知を行う。また、「職員のための講師養成講座」のシラバスを充実させるなど、各取組の概要をより明確に伝えられるよう今後も工夫していく。
- (6) より多くの加盟校から参加する「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）」において、受講者アンケートに加え、派遣元である加盟校SD担当者に対してもアンケート調査を行う等、SPOD-SDプログラムの改善に向けた取組を行う。

### 2. SPOD事業に対する各加盟校（特に私立大学）の関わり

- (1) 各加盟校教職員のプログラム受講状況について分析を行い、その分析結果に基づき対応策を講じる。
- (2) 各加盟校教職員が研修プログラムをより利用しやすくするため、研修プログラムに関する情報提供方法の見直しを行う。
- (3) 平成28年度は、初めて私立大学職員のSPOD-SDCを輩出した。引き続き、幅広い加盟校からのSDC輩出を促進する。

### 3. 調査・研究の実質化

- (1) 県内加盟校会議や例年SPOD総会後に実施しているFD／SD分科会等の場を利用して、各加盟校のニーズや期待等を継続的に把握し、対応を進めていく。
- (2) 各加盟校のニーズや期待等を把握するため、アンケート調査を行う。
- (3) FD専門部会では、各加盟校で共通して使用することのできるツールを開発する。
- (4) SD専門部会では、次世代リーダー養成ゼミナールにおける修了プロジェクトの成果について、大学行政管理学会等で報告を行う。

### 4. SPOD事業評価の在り方

SPOD事業評価委員会については、これまで実績報告書に基づく評価のみ行っていたが、各委員がより深くSPOD事業について把握できるよう、SPOD事業視察の場を提供する。これを踏まえ、委員会開催を委員任期の最終年度に開催することとし、委員在任中にSPODフォーラム等のSPOD事業を視察していただいた上で、総合的な意見・評価を委員会でもいただくこととする。

# SPODフォーラム 2017



## Feeling と Thinking を Learning につなげる

### Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education



SPODフォーラムは… 大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様で質の高いFD/SDプログラムならびに組織を超えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供します。

日時・場所

2017年 **8/23** (水) ▶ **25** (金) 徳島大学 常三島キャンパス

主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD) / 徳島大学

参加申込

※事前申込制 (先着順)

SPOD加盟校の教職員限定受付 2017年6月22日(木)正午~7月7日(金)正午

一般受付 (SPOD加盟校の方も申込可) 2017年7月13日(木)正午~7月27日(木)正午

申込みはWEBから

<https://www.spod.ehime-u.ac.jp>

※申込開始時には各プログラムのシラバスがご覧になれます。

参加費 ※

SPOD加盟校の教職員

**無料**

SPOD加盟校以外の教職員

**10,000円**

※情報交換会費は除きます。

特徴

**1** 多彩な講師陣

先進的な教育改革で知られる大学のトップ、各大学のFDやSDの第一線で活躍する教職員やディベロッパー、職場の人材育成・能力開発分野で活躍するプロフェッショナルなど、多彩かつ魅力的な講師陣をそろえました。

特徴

**2** 職場で使える実践型プログラム

講師と受講者の間でのインタラクティブなワークショップ形式のプログラムが数多く開講されます。参加者には、意見を出し合い知を共同で作り上げることが求められると同時に、職場ですぐに使える実践的なノウハウを持ち帰ることができます。

特徴

**3** SDプログラムも多数開講

SPODでは、FD同様にSDに力を入れており、他では体験できないプログラムを数多く開講しています。教育改善に関心のある多くの教職員の方の参加をお待ちしております。

#### — 参加者の声 —

- 短期間で集中的に多種多様なセッションを受講でき、大変効率的に知識を得ることができました。
- SPODの研修はワークが多いため、学生がどう感じるかを実感できるので、現場に生かしやすくと感じました。
- 人脈を広げることができ、日々の業務においての違う角度からの見方、考え方に気付かせてもらったのが何よりの収穫です。



#### アクセス ※駐車場スペースはありませんので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

JR徳島駅から

● 徒歩の場合 ——— 30分

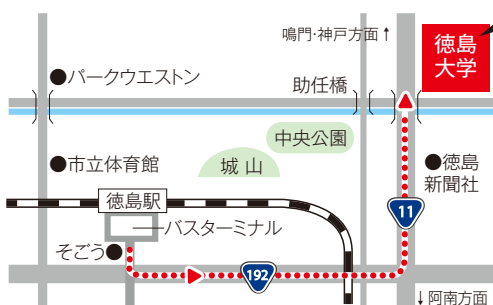
● バス利用の場合 — 20分

徳島駅より徳島市営バス

● 「島田石橋」行「助任橋(徳島大学前)」下車

● 中央循環線(左回り)「助任橋(徳島大学前)」下車

● 川内循環線(左回り)「助任橋(徳島大学前)」下車



● お問い合わせ先

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事務局(愛媛大学教育学生支援部教育企画課)

☎ 089-927-9154 ☎ E-mail [spod@stu.ehime-u.ac.jp](mailto:spod@stu.ehime-u.ac.jp)

● 当日のお問い合わせ先

徳島大学学務部教育支援課

☎ 088-656-7080

全体  
受付

プログラムを受講する方は、必ず各自の受講初日に全体受付を済ませてください。

■場所：教養教育4号館2階201 ■時間：8月23日(水)～25日(金) 9:00～



過去の  
資料等は  
こちら

| 会 場 | A         | B         | C         | D         | E             | F             |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|---------------|
| 建物名 | 教養教育4号館2階 | 教養教育4号館3階 | 教養教育4号館4階 | 教養教育4号館4階 | 地域創生・国際交流会館3階 | 地域創生・国際交流会館5階 |
| 教室名 | 202       | 302       | 402       | 404       | 共用室 301       | フューチャーセンター    |

|                     |   |                     |                                                                                                             |                                                                             |                                                                                                              |                                                                      |                                                                      |                                                                                    |
|---------------------|---|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 1<br>日目<br>8月23日(水) | 1 | 10:00<br>～<br>12:00 | <b>New!!</b> 2301A<br>若手職員のための<br>キャリア形成入門<br>織田隆司(愛媛大学)<br><br>ワーク 42名                                     | 2301B<br>反転授業をやってみよう<br>-橋本メソッドの実践から-<br>金西計英(徳島大学)<br><br>ワーク 40名          | 2301C<br>教職員のための<br>大学の危機管理<br>-事例から考えるハラスメント-<br>吉田一恵,高木佳代子(愛媛大学)<br><br>ワーク 36名                            | 2301D<br>データに基づいた教育改善<br>清水栄子(愛媛大学)<br><br>ワーク・講義 80名                | 2301E<br>FD担当者研修<br>宮田政徳,吉田博(徳島大学)<br>中井俊樹,小林忠資(愛媛大学)<br><br>ワーク 20名 | <b>New!!</b> 2301F<br>コミュニケーションの基礎<br>-ワークショップ体験から学ぶ-<br>三隅友子(徳島大学)<br><br>ワーク 40名 |
|                     | 2 | 13:00<br>～<br>15:00 | <b>New!!</b> 2302A<br>事例から学ぶ<br>「学生」「後輩職員」との<br>対話型コミュニケーション<br>講座<br>次世代リーダー養成セミナー<br>(7期生)<br><br>ワーク 30名 | 2302B<br>始めよう! アクティブ・<br>ラーニング型授業<br>-協同学習入門編-<br>葛城浩一(香川大学)<br><br>ワーク 50名 | 2302C<br>大学で地域課題解決に関わ<br>る教職員のためのエンバ<br>ワメント手法入門<br>-地域課題の抽出と解決に向<br>けての合意形成づくり-<br>前田真(愛媛大学)<br><br>ワーク 50名 | 2302D<br>大人数講義のコツ<br>(とくに授業初心者のための)<br>小林直人(愛媛大学)<br><br>講義 80名      |                                                                      | 2302F<br>ジグソー学習法を用いた<br>グループワークの進め方<br>村田晋也(愛媛大学)<br><br>ワーク 30名                   |
|                     | 3 | 15:30<br>～<br>17:30 |                                                                                                             | 2303B<br>学生参加型授業の技法<br>西本佳代(香川大学)<br><br>ワーク 32名                            | 2303C<br>質問を変えると<br>授業が変わる?!<br>川野卓二(徳島大学)<br><br>ワーク 48名                                                    | <b>New!!</b> 2303D<br>ダイバーシティの<br>推進について<br>村上弥生(香川大学)<br><br>講義 60名 |                                                                      | 2303F<br>ルーブリック評価入門<br>-考える,つくる,活用する-<br>侯野秀典(高知大学)<br><br>ワーク 30名                 |
|                     |   | 17:40<br>～<br>19:00 | ポスターセッション 会場: 地域創生・国際交流会館1階コモンラウンジ 見学自由                                                                     |                                                                             |                                                                                                              |                                                                      |                                                                      |                                                                                    |

|                     |                     |                                                                                          |                                                                                                                                                                                   |                                                                                      |                                                                                          |                                                                                                                                           |                                                                                                                |                                                                                          |       |
|---------------------|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 2<br>日目<br>8月24日(木) | 1                   | 10:00<br>～<br>12:00                                                                      | <b>New!!</b> 2401A<br>職員のための「前向きな<br>職場づくり」入門<br>-実践知を可視化,活用する-<br>宮林常崇(首都大学東京)<br><br>ワーク 50名                                                                                    | <b>New!!</b> 2401B<br>教職協働で学生を育成する<br>-学生をホンキにさせるコツ-<br>岸岡洋介(京都外国語大学)<br><br>ワーク 50名 | <b>New!!</b> 2401C<br>若手・中堅職員のための<br>キャリア形成・支援ワーク<br>ショップ<br>秦敬治(追手門学院大学)<br><br>ワーク 50名 | 2401D<br>理工系講義形式授業において<br>学生の学習を促進する授業デザイン<br>榊原暢久(芝浦工業大学)<br>吉田博(徳島大学)<br><br>ワーク 30名                                                    | <b>New!!</b> 2401E<br>「クラウドファンディング」<br>ちょこっとやってみませんか?<br>-科研費に変わる新たな外部<br>資金獲得方法-<br>角村法久(徳島大学)<br><br>ワーク 20名 | <b>New!!</b> 2401F<br>学年間のつながりを生み<br>出す学習環境デザイン<br>山田嘉徳(大阪産業大学)<br><br>ワーク 20名           |       |
|                     | 2                   | 13:00<br>～<br>15:00                                                                      | 2402A<br>中堅職員のための問題解決型<br>プロジェクトマネジメント<br>丸山智子(愛媛大学)<br><br>ワーク 50名                                                                                                               | <b>New!!</b> 2402B<br>学生の学びを促す<br>学習評価の方法<br>山田剛史(京都大学)<br><br>ワーク 50名               | 2402C<br>学生支援に必要な<br>カウンセリング入門<br>杉田郁代,吉岡暁(高知大学)<br><br>ワーク 50名                          | <b>New!!</b> 2402D<br>教育改革を担う<br>教職員のためのリーダーセミナー<br>「教育改革戦略の多様化と自大学<br>文脈の可視化に向けた組織開発<br>-ストーリーテリングの視点を交えて-」<br>川島啓二(九州大学)<br><br>ワーク 60名 | 2402E<br>ディープラーニングに誘う<br>アクティブ・ラーニングの手法<br>立川明(高知大学)<br><br>ワーク 30名                                            | <b>New!!</b> 2402F<br>教育実践を研究にする<br>5つのステップ<br>-SoTLの理論と実践-<br>佐藤浩章(大阪大学)<br><br>ワーク 30名 |       |
|                     | 3                   | 15:30<br>～<br>17:30                                                                      | <b>シンポジウム</b> 会場: 地域連携プラザ2階 常三島けやきホール<br><b>New!! 「学生が感じ、考え、それを学びにつなげる教育と学習支援」</b><br>パネリスト: 秦敬治(追手門学院大学) 俣野秀典(高知大学) 佐々木奈三江(徳島大学)<br>指定討論者: 小林直人(愛媛大学) 司会: 宮田政徳(徳島大学)<br><br>260名 |                                                                                      |                                                                                          |                                                                                                                                           |                                                                                                                |                                                                                          | 2403G |
|                     | 18:00<br>～<br>20:30 | <b>情報交換会</b> 会場: 徳島大学 生協食堂きらら 会費: 4,000 円(事前申込み制)<br>余興: 阿波踊り(参加者の方への踊りのレッスン・踊りの体験を含みます) |                                                                                                                                                                                   |                                                                                      |                                                                                          |                                                                                                                                           |                                                                                                                |                                                                                          |       |

|                     |                          |                                                                                                                                               |                                                                                |                                                                            |                                                                                          |                                                                                                          |                                                                                                 |
|---------------------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3<br>日目<br>8月25日(金) | 1<br>10:00<br>～<br>12:00 | 2501A<br>部下を育てるメンタリング<br>-次の一歩を踏み出させ,<br>自らも気づく-<br>阿部光伸(愛媛大学)<br><br>ワーク 50名                                                                 | 2501B<br>始めよう!アクティブ・<br>ラーニング型授業<br>-協同学習・図解の技法編-<br>中住幸治(香川大学)<br><br>ワーク 50名 | 2501C<br>学生支援担当者のための<br>法律に基づく障害学生への<br>合理的配慮<br>青野浩(徳島文理大学)<br><br>講義 50名 | 2501D<br>経験を学びにかえる<br>-学生・若手職員に求めら<br>れる能力を考える-<br>塩崎俊彦(高知大学)<br><br>ワーク 60名             | <b>New!!</b> 2501E<br>教務系職員としての実践知<br>を増やそう<br>-学びを促す学生対応とは<br>何かを考える-<br>竹中喜一(関西大学)<br><br>ワーク 20名      | 2501F<br>学生のモチベーションを高<br>める授業デザインと実践<br>川瀬和也(宮崎公立大学)<br><br>ワーク 28名                             |
|                     | 2<br>13:00<br>～<br>15:00 | <b>New!!</b> 2502A<br>大学グローバル化と職員の<br>英語力:大学職員が自分の英<br>語学習力をどう高めるのか<br>福田ステイブ利久(文教大学)<br>※本プログラムは13:00～14:30の90分<br>で実施します。<br><br>ワーク・講義 30名 | 2502B<br>グラフィックシラバスを<br>書こう<br>宮田政徳(徳島大学)<br><br>ワーク 50名                       | <b>New!!</b> 2502C<br>実践的インターンシップ<br>導入のススメ<br>川崎克寛(徳島大学)<br><br>ワーク 50名   | <b>New!!</b> 2502D<br>「発達場」としての授業<br>デザイン<br>-パフォーマンス心理学入門-<br>新原将義(徳島大学)<br><br>ワーク 50名 | <b>New!!</b> 2502E<br>学務系職員の基礎力講座<br>-教職協働における事務<br>職員の役割-<br>三好信幸,福川利夫,宮川純子<br>(徳島大学)<br><br>ワーク・講義 25名 | <b>New!!</b> 2502F<br>看護教員のためのアクティ<br>ブラーニング(AL)入門<br>-講義にALを組み込む-<br>小林忠資(愛媛大学)<br><br>ワーク 30名 |

ワーク

主にグループワークや  
ペアワーク等を中心と  
したプログラムです。

講義

主に講義を中心としたプログラムですが,  
グループワークやペアワーク等が含まれ  
る場合もございます。

ワーク・講義

グループワークと講義を  
併用したプログラムです。

00名

プログラム定員

連続受講が  
必須のプログラム

連続受講が  
必須のプログラム



## SPODフォーラム2017ポスターセッション取組一覧

日時:平成29年8月23日(水)発表時間発表番号奇数17:40-18:20, 発表番号偶数18:20-19:00  
場所:徳島大学地域創生・国際交流会館1階コモンラウンジ

加盟校11件  
加盟校外13件

平成29年6月30日現在

| 申込<br>順 | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>番<br>号 | テーマ                                   | 発表代表者       |                           |             | 共同発表者                                                                                                                               |
|---------|----------------------------|---------------------------------------|-------------|---------------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         |                            |                                       | 氏名          | 所属                        | SPOD<br>加盟校 |                                                                                                                                     |
| 1       |                            | 学生による情報センターサービス向上のための啓蒙活動             | 角谷充彦        | 中京大学学術情報システム部             |             | 岩田庄平(中京大学法学部)                                                                                                                       |
| 2       |                            | 臨床実習前のセルフモニタリング付客観的臨床能力試験             | 山本麻理奈       | 香川大学自然科学生命系               | ○           | 清水裕子(香川大学自然科学生命系)                                                                                                                   |
| 3       |                            | 理工系分野におけるFDプログラム開発の展開ver3.0           | 榊原暢久        | 芝浦工業大学教育イノベーション推進センター／工学部 |             | 吉田博(徳島大学総合教育センター)                                                                                                                   |
| 4       |                            | 卒業時アウトカムを取り入れた新シラバスによる学修成果の可視化について    | 内田竜司        | 福岡歯科大学教育支援・教学IR室          |             | 児玉淳(福岡歯科大学学生体構造学講座機能構造学分野)<br>赤間尚樹(福岡歯科大学教育支援・教学IR室)                                                                                |
| 5       |                            | 学生調査の選択肢が学生の自己評価に与える影響                | 松本高志        | 阿南工業高等専門学校創造技術工学科電気コース    | ○           | 小松実(阿南工業高等専門学校創造技術工学科)<br>山田耕太郎(阿南工業高等専門学校創造技術工学科)<br>川畑成之(阿南工業高等専門学校創造技術工学科)<br>太田健吾(阿南工業高等専門学校創造技術工学科)<br>菊池弥生(阿南工業高等専門学校教育開発推進室) |
| 6       |                            | 客観的な行動特性把握によるEQ能力開発手法の提案              | 畠一樹         | 徳島大学総合教育センター, キャリア支援部門    | ○           |                                                                                                                                     |
| 7       |                            | 学生による学生と教員のコミュニケーションの仕掛け              | 長谷川紀幸       | 横浜国立大学理工学部                |             |                                                                                                                                     |
| 8       |                            | CLALを通じたアクティブ・ラーナー育成とFDの課題            | 岡田高嘉        | 県立広島大学総合教育センター            |             | 門戸千幸(県立広島大学総合教育センター)<br>馬本勉(県立広島大学総合教育センター)                                                                                         |
| 9       |                            | 創価大学の職員力向上へ(グランドデザイン達成に向けた研修制度の取組み)   | 池ヶ谷浩二郎      | 創価大学総合学習支援オフィス            |             |                                                                                                                                     |
| 10      |                            | AP事業大学の学びの質保証について                     | 杉田郁代        | 高知大学大学教育創造センター            | ○           | 塩崎俊彦(高知大学大学教育創造センター)<br>立川明(高知大学大学教育創造センター)                                                                                         |
| 11      |                            | e-ポートフォリオを用いた学生の学修成果の可視化について          | 塩崎俊彦        | 高知大学大学教育創造センター            | ○           | 杉田郁代(高知大学大学教育創造センター)<br>立川明(高知大学大学教育創造センター)                                                                                         |
| 12      |                            | 海外サービス・ラーニングプログラム開発を通じたSD             | 馬場洸志        | 追手門学院大学教育開発センター           |             | 宗浩嗣(追手門学院大学国際交流教育センター)                                                                                                              |
| 13      |                            | 防災をテーマとした準正課教育の実践と教育効果の検討             | 藤巻晃         | 徳島文理大学地域連携センター            | ○           | 桃井克将(徳島文理大学保健福祉学部)<br>多田一子(徳島文理大学教務部)<br>藤本正己(徳島文理大学教務部)                                                                            |
| 14      |                            | シェアド・リーダーシップを開発する初年次教育の実践             | 佐伯勇         | 甲南女子大学人間科学部               |             |                                                                                                                                     |
| 15      |                            | AP事業SDウィークの取組について                     | 西田浩敏        | 高知大学学務課                   | ○           | 黒田さやか(高知大学学務部学務課)                                                                                                                   |
| 16      |                            | 職場の人材育成機能を強化するOJTツールの開発               | 玉井大輔        | 滋賀県立大学事務局教務グループ           |             | 宮林常崇(首都大学東京日野キャンパス管理部)                                                                                                              |
| 17      |                            | 全学的な初年次教育科目の推進に伴う教員のティーチングスキル・マインドの変化 | 上田勇仁        | 徳島大学総合教育センター教育改革推進部門      | ○           | 吉田博(徳島大学総合教育センター教育改革推進部門)<br>新原将義(徳島大学総合教育センター教育改革推進部門)                                                                             |
| 18      |                            | 看護学を専攻する学生への口腔アセスメントについての指導案の模索       | 桑村由美        | 徳島大学大学院医歯薬学研究部看護学系        | ○           | 岸田佐智(徳島大学大学院医歯薬学研究部看護学系)                                                                                                            |
| 19      |                            | SDをあたりまえにー青森中央学院大学の挑戦ー                | 石田壮平        | 青森中央学院大学法人本部企画部           |             |                                                                                                                                     |
| 20      |                            | 教職員の学生対応の質の向上に向けたマニュアルの作成             | 坂本智香        | 高知大学学生総合支援センター            | ○           |                                                                                                                                     |
| 21      |                            | 大学経営人材育成のための金沢大学ケースメソッドSD研修開発         | 松村典彦        | 金沢大学スーパーグローバル企画・推進室       |             | 近藤真史(金沢大学研究推進部研究推進課)<br>三島卓也(金沢大学総務部総務課)<br>上島洋佑(金沢大学国際基幹教育院高等教育開発・支援系)                                                             |
| 22      |                            | 東日本大震災被災地支援と連携したAL型大学院教育              | 佐藤高則        | 徳島大学理工学部応用理数コース           | ○           | 中山信太郎(徳島大学)<br>山本真由美(徳島大学総合科学部心身健康コース)                                                                                              |
| 23      |                            | 芝浦工大における科研費採択支援研修                     | 坂井直道        | 芝浦工業大学教育イノベーション推進センター     |             | 榊原暢久(芝浦工業大学工学部共通学群数学科)<br>鈴木洋(芝浦工業大学教育イノベーション推進センター)                                                                                |
| 24      |                            | FDプログラムに関する効果検証の試み                    | MazurMichal | 北海道大学高等教育推進機構             |             | 山本堅一(北海道大学高等教育推進機構)                                                                                                                 |

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」の役員の改選について（案）

平成 29 年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の実施にあたって、「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」規約（以下「規約」という。）第 8 条第 1 項、第 3 項、第 5 項、第 7 項及び第 10 項に基づき、香川大学長改選に伴い、平成 29 年度副会長（香川大学長）の改選を行う。任期については、前任者の残任期間である平成 31 年 3 月 31 日までとする。

副会長（規約第 8 条第 1 項、第 3 項、第 5 項、第 7 項及び第 10 項関係）

香川大学 寛 善行 次期学長（平成 29 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

香川大学 長尾 省吾 学長 （平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

【参考】「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」規約（抄）

（代表校）

第 7 条 コア校※のうち、1 校を SPOD の代表校とする。

2 代表校は、コア校の互選により選出する。

3 代表校の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

（会長、副会長、監事及び企画・実施統括者）

第 8 条 SPOD に、会長（1 名）、副会長（3 名）、監事（2 名）及び企画・実施統括者（1 名）を置く。

2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。

3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。

4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。

5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

6 会長は、SPOD を代表する。

7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

8 監事は、会計を監査する。

9 企画・実施統括者は、SPOD 活動に係る企画及び実施を統括する。

10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。

（事務局）

第 12 条 SPOD の事務局は、代表校に置き、加盟校の協力を得て運営にあたる。

※コア校とは、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学を指す。

## 「研修プログラムガイド」の見直しについて(案) ～SPODウェブサイトの活用～

平成29年6月

### 1. 趣旨

今年度、SPOD設立から10年目を迎えるにあたり、加盟校教職員にとって「研修プログラムガイド」がより利用しやすいものとなるよう、SPODウェブサイトを活用した見直しを行いたい。

SPODでは、各加盟校教職員が相互に参加可能なFD・SDプログラム(開放プログラム)を網羅的に掲載した「研修プログラムガイド」を平成21年度から毎年発行し、加盟校の全教職員約7,000名に配付している。

「研修プログラムガイド」は、手軽に研修プログラムの内容を確認できるという利点があり、各プログラムの検索にあたっては、受講したいプログラムの詳細により早くたどりつけるよう、目的別(日程別・開催大学別・テーマ別)の研修プログラム一覧を掲載するなど誌面構成を工夫している。しかし、冊子体という性質上、検索性という観点ではデータによる検索には及ばない。

一方、SPODウェブサイトにおいても、「研修プログラムガイド」に掲載している各プログラムの詳細情報と同じ内容を「イベント情報」ページに掲載しているが、現在は検索機能を設けていないため、SPODウェブサイト上で各プログラムの詳細情報を研修プログラム一覧から検索できるよう、改訂を行いたい。

また、これに併せて、各プログラムの詳細情報提供をSPODウェブサイトに特化させ、紙媒体の「研修プログラムガイド」については、より早い時期にSPOD研修の全体像を加盟校教職員に提供できるよう「リーフレット」版に変更する、というように、ウェブサイトと紙媒体のそれぞれの特徴を活かした見直しを行いたい。

### 2. 検討事項

- (1) SPOD研修の情報提供方法
- (2) 研修プログラムガイドの掲載内容
- (3) 経費
- (4) 作業スケジュール

### 3. 実施方法

- (1) SPODコア会議において研修プログラムガイドの見直しを検討する。
- (2) 持ち帰り審議を行う段階で、必要に応じ、コア校内や県内各加盟校の意見を伺う。

### 4. 作業スケジュール

[参考]前年度の冊子作成スケジュール

| 日程      | 会議等         | 事項                  | 日程   | 事項                                          |
|---------|-------------|---------------------|------|---------------------------------------------|
| 6月      | 教育企画室ミーティング | 見直し提案               | 12月  | コア会議<br>・研修プログラムガイド作成の概要説明<br>・各コア校への原稿作成依頼 |
| 7月5日    | コア会議(対面)    | 見直し提案⇒持ち帰り検討        | 2月   | 原稿取りまとめ                                     |
| 9月～10月  | コア会議        | 見直しの方針決定            | 3月上旬 | 業者へ原稿渡し                                     |
| 10月～11月 |             | 方針に沿って詳細調整          | 3月中旬 | 校正                                          |
| 12月     | コア会議        | 各コア校へ概要説明<br>原稿作成依頼 | 4月末  | 納品⇒各加盟校へ送付                                  |

### 5. SPOD研修の情報提供方法(見直し後)

|         | 紙媒体    | SPODウェブサイト   |               |    | 紙媒体<br>作成費用<br>(概算)※ |
|---------|--------|--------------|---------------|----|----------------------|
|         |        | 紙媒体の<br>PDF版 | 研修プログラム<br>一覧 | 詳細 |                      |
| 見直し前    | 冊子     | ○            | —             | ○  | 約100万円               |
| 見直し後(案) | リーフレット | ○            | ○             | ○  | 約30万円                |

※ウェブサイト改訂費用:約6万円(初年度のみ)

#### 【メリット】

- ①校正期間を短縮できるため、より早い時期に各加盟校に送付できる。
- ②必要な情報をハイライトで掲載できるため、全体像を理解しやすい。
- ③紙媒体作成費用を抑えることにより、各加盟校の負担金を全体で約70万円引き下げられる。



SPOD内講師派遣プログラム希望状況一覧(平成23～29年度)

| カテゴリ          | No. | H29<br>新規 | プログラム名                                                                                                   | 講師所属      |                         |                         |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                                  |
|---------------|-----|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|----------------------------------|
|               |     |           |                                                                                                          | H29<br>新規 | H29<br>第2期<br>専任教<br>員数 | H29<br>第3期<br>専任教<br>員数 | H28<br>前年度<br>収数 | H27<br>前年度<br>収数 | H26<br>前年度<br>収数 | H25<br>前年度<br>収数 | H24<br>前年度<br>収数 | H23<br>前年度<br>収数 | 愛媛大学<br>徳島大学<br>高知大学<br>同専<br>高専 |
| コンサルテーション     | 1   |           | SPOD課題発見コンサルテーション<br>※ 当該年度に限り、SPODの専任教員に限り派遣可能。SPODの専任教員は、SPODの専任教員に限り派遣可能。SPODの専任教員は、SPODの専任教員に限り派遣可能。 |           |                         |                         | 1                |                  |                  |                  |                  |                  | 愛媛県内担当<br>高知県内担当<br>香川県内担当       |
|               | 2   | 新規        | 3つのポリシー（ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー）<br>の開発と一貫性構築手法                                                 | 新規        |                         |                         |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                                  |
| 授業改善・<br>教授法  | 3   |           | 学生の学びを促すシラバスの書き方                                                                                         |           |                         |                         |                  | 1                | 2                |                  | 1                |                  | 徳島 立川 横野                         |
|               | 4   |           | グラフィック・シラバスの作成方法                                                                                         |           |                         |                         |                  |                  |                  |                  |                  |                  | 徳島 立川 横野                         |
| 授業改善・<br>教授法  | 5   |           | ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりのポイント                                                                            |           |                         |                         | 1                |                  |                  |                  |                  |                  | 杉田 立川                            |
|               | 6   |           | 学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？                                                                                        |           | 2                       | 2                       | 1                | 2                | 3                |                  |                  |                  | 徳島 立川 横野 杉田                      |
| 授業改善・<br>教授法  | 7   |           | 受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り                                                                                  |           | 2                       |                         |                  | 2                |                  |                  |                  |                  | 立川 杉田                            |
|               | 8   |           | 大人数講義を魅力的にするテクニク                                                                                         |           | 1                       | 1                       | 1                | 1                | 1                |                  | 1                |                  | 杉田                               |
| 授業改善・<br>教授法  | 9   | 新規        | アクティブ・ラーニング実践（経験編法）                                                                                      | 新規        | 3                       | 1                       |                  |                  |                  |                  |                  |                  | 立川                               |
|               | 10  | 新規        | アクティブ・ラーニング入門                                                                                            | 新規        | 1                       | 1                       | 2                |                  |                  |                  |                  |                  | 徳島・立川                            |
| 授業改善・<br>教授法  | 11  |           | 効果的なeラーニングの活用方法                                                                                          |           |                         |                         | 1                | 1                |                  |                  |                  |                  | 立川                               |
|               | 12  |           | 基礎から学ぶ学習評価法                                                                                              |           |                         |                         | 1                | 1                | 1                | 1                |                  |                  | 横野                               |
| プログラム開発       | 13  |           | 授業アンケートを見直しませんか？～アンケートの効果的実施と活用方法～                                                                       |           | 1                       | 1                       |                  |                  |                  | 1                | 2                |                  | 徳島 立川 横野                         |
|               | 14  |           | ティーチング・ポートフォリオ入門～教育実践のリフレクション～                                                                           |           |                         |                         | 1                | 1                | 1                | 1                | 3                |                  | 久保田、菅田                           |
| 高専向け          | 15  | 新規        | 高専における学生ライクとの対峙                                                                                          | 新規        | 1                       | 1                       |                  |                  |                  |                  |                  |                  | 井井                               |
|               | 16  |           | 担任教員に求められること～担任スキル開発ワーク～                                                                                 |           |                         |                         |                  |                  | 1                | 1                |                  |                  | 井井                               |
| 高専向け          | 17  |           | 事例から見た、学生・保護者から信頼される高専教育                                                                                 |           |                         | 1                       |                  | 1                | 2                |                  |                  |                  | 井井                               |
|               | 18  |           | 今すぐ役立つ授業Tips アクティブ・ラーニングのスタート                                                                            |           |                         | 1                       | 2                | 1                |                  |                  |                  |                  | 井井                               |
| 高専向け          | 19  |           | 講義VR制作ワークショップとアクティブ・ラーニングへの活用                                                                            |           |                         |                         | 1                |                  |                  |                  |                  |                  | 井井                               |
|               | 20  |           | 大学職員のための企画力養成講座                                                                                          |           |                         |                         |                  |                  | 1                | 1                | 2                | 3                | 阿部 仲道 清水 丸山                      |
| 業務改善          | 21  |           | 若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座                                                                                   |           | 1                       |                         |                  |                  | 2                | 3                |                  |                  | 阿部 仲道 清水 丸山                      |
|               | 22  |           | インストラクショナル・デザイン(ID／教育設計)を活用した企画・立案マネジメント                                                                 |           | 1                       | 1                       | 1                | 1                |                  |                  |                  |                  | 仲道                               |
| 業務改善          | 23  |           | コア・ネットワーク力養成講座                                                                                           |           |                         |                         |                  | 1                |                  |                  |                  |                  | 仲道 村田                            |
|               | 24  |           | マインドマップ入門講座(3時間)                                                                                         |           |                         |                         |                  |                  | 1                |                  |                  |                  | 横野                               |
| 業務改善          | 25  |           | 後輩の成長を促すコーチング                                                                                            |           |                         |                         | 1                |                  |                  |                  |                  |                  | 小林 忠 清水                          |
|               | 26  |           | 円滑な会議運営のためのファシリテーション入門                                                                                   |           |                         | 3                       |                  |                  |                  |                  |                  |                  | 清水 小林 忠                          |
| 業務改善          | 27  |           | リーダーシップ入門                                                                                                |           |                         |                         |                  |                  |                  |                  |                  |                  | 村田 丸山                            |
|               | 28  |           | チームビルディング                                                                                                |           | 1                       | 1                       |                  |                  |                  |                  |                  |                  | 村田 仲道                            |
| 業務改善          | 29  |           | 教員IR入門                                                                                                   |           | 1                       | 1                       | 2                |                  |                  |                  |                  |                  | 清水 加地                            |
|               | 30  | 新規        | 職員のための経験学習                                                                                               | 新規        | 1                       |                         |                  |                  |                  |                  |                  |                  | 高橋                               |
| 業務改善          | 31  |           | 組織の力を引き出す観察力養成講座                                                                                         |           |                         |                         |                  |                  |                  |                  |                  |                  | 仲道 村田                            |
|               | 32  |           | スタッフ・ポートフォリオ入門～職員と大学が共に働くために～                                                                            |           | 1                       |                         |                  |                  | 1                | 1                | 1                |                  | 阿部 清水 菅田                         |
| 人材育成・<br>人事制度 | 33  |           | 持続可能なSDプログラムの開発手法                                                                                        |           |                         |                         |                  |                  |                  |                  |                  | 1                | 阿部                               |
|               | 34  |           | 人事人材育成とジョブの必要性                                                                                           |           |                         |                         |                  |                  |                  |                  |                  |                  | 阿部 菅田                            |
| 人材育成・<br>人事制度 | 35  | 新規        | 大学職員に必要な能力と専門性                                                                                           | 新規        | 3                       | 2                       |                  |                  |                  |                  |                  |                  | 吉田 清水                            |
|               | 36  |           | 学生の自立を促す学生支援の実践とコツ                                                                                       |           | 1                       |                         |                  | 1                | 1                | 1                | 3                |                  | 徳島 立川                            |
| 学生支援          | 37  |           | 学生の主体性を促す学習支援                                                                                            |           |                         |                         | 2                | 3                |                  |                  |                  |                  | 清水                               |
|               | 38  | 新規        | 現代学生の理解と関わり方                                                                                             | 新規        | 5                       | 2                       | 2                |                  |                  |                  |                  |                  | 野本                               |
| 学生支援          | 39  | 新規        | 現代の労働市場を理解する                                                                                             | 新規        | 1                       |                         |                  |                  |                  |                  |                  |                  | 平尾                               |
|               | 40  |           | 事例から考えるハラスメント                                                                                            |           |                         |                         | 1                | 3                |                  |                  |                  |                  | 吉田 高木                            |
| 危機管理          | 41  | 新規        | 大学教職員のための危機管理                                                                                            | 新規        | 1                       | 3                       |                  |                  |                  |                  |                  |                  | 吉田                               |
|               | 42  |           | 学生が預けFIDの実践事例                                                                                            |           |                         |                         | 1                | 1                |                  |                  |                  | 1                | 小林 忠                             |

※H29希望なし：聖カタリナ、鳴門教育、香川高専

印 章 省 略

愛 大 学 企 第 号  
平 成 2 9 年 月 日四国地区大学教職員能力開発ネットワーク加盟校  
各大学長，短期大学長，高等専門学校長 殿(四国地区大学教職員能力開発ネットワーク会長)  
国立大学法人愛媛大学長  
大 橋 裕 一平成30年度の負担金算定に係る平成29年5月1日現在  
の教職員数について (依頼)

日頃より，「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)事業に御協力賜りありがとうございます。

さて，標記のことにつきましては，平成29年7月5日(水)開催のネットワークコア運営協議会での検討を踏まえ，今年度と同様に，平成29年5月1日現在の学校基本調査における教職員数に基づき算定する予定であります。

ついては，別添回答票に必要事項を御記入の上，平成29年 月 日( )までに，SPOD事務局(spod@stu.ehime-u.ac.jp)あてメールにて御回答願います。

なお，回答票の提出に当たっては，根拠資料として，今年度文部科学省に提出した本年5月1日現在の学生教職員等状況票(高専は学校調査票)の写しを併せて送付願います。

おって，各加盟校の負担金額については，平成30年3月開催予定のネットワーク総会の議を経て最終的に決定いたしますので，念のため申し添えます。

(添付書類)

- 1 SPOD加盟校教職員数回答票
- 2 平成29年度学校基本調査 学生教職員等状況票等様式

(本件担当)  
 (四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事務局)  
 愛媛大学教育学生支援部教育企画課  
 五貫，松崎，橋本  
 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番  
 TEL: 089-927-9154 (直通)  
 FAX: 089-927-8100  
 E-mail: spod@stu.ehime-u.ac.jp

## SPOD加盟校教職員数回答票

| 大学等名<br>※大学名等を記載ください | 常勤教員数 (H29.5.1現在) |       |        |                   | 常勤職員数 (本務者) |      |                 | ⑧対象教職員数合計<br>(⑥+⑦) |
|----------------------|-------------------|-------|--------|-------------------|-------------|------|-----------------|--------------------|
|                      | ①本務者              | ②附属病院 | ③附置研究所 | ⑥対象教員数<br>(①-②-③) | ④事務系        | ⑤教務系 | ⑦対象職員数<br>(④+⑤) |                    |
|                      |                   |       |        | 0                 |             |      | 0               | 0                  |

### 【留意事項】

(1)回答票の作成に当たっては、別添「学生教職員等状況票」または「学校調査票」を参考に、上記網掛け部分(「大学等名」及び「教職員数①～⑤」)について、各大学等における該当教職員数を入力ください。

なお、「⑥対象教員数」、「⑦対象職員数」、「⑧対象教職員数合計」は入力不要です(合計数は自動計算します)。

(2)回答票の回答に当たっては、教員数の根拠資料として、平成29年度学校基本調査「学校調査票(大学・短期大学) 学生教職員等状況票」もしくは「学校調査票(高等専門学校)」を回答票と併せて提出ください。

## 高知大学 平成 29 年度 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ実施要項

## 1. 主 催

高知大学 大学教育創造センター

## 2. 期 日

平成 29 年 8 月 29 日（火）～8 月 30 日（水）

【1 日目】8 月 29 日（火）8:45 受付開始

9:00～18:00 授業準備ワークショップ

18:00～20:00 交流会・模擬授業の準備作業

※ 夕食をともにしながらの意見交換や懇親のための交流会があります。それぞれの部署を越えた新任教員間の関係づくりを目指しています。交流会の後、翌日の模擬授業のための準備の時間をとることもできます。

【2 日目】8 月 30 日（水）9:00～12:00

## 3. 場 所

高知大学朝倉キャンパス共通教育棟 3 号館 1 階 310 番教室（高知県高知市曙町二丁目 5 - 1）

## 4. 参加対象者（一度参加した者は除く）

1）一昨年度から本年度にかけて大学等に採用された授業担当または担当予定の教員（授業担当経験 5 年以上の方を除く）

※大学での教育経験が 5 年未満の先生方を対象としておりますが、このご案内は、平成 23 年度以降に高知大学に着任された方々で、ご都合により平成 23～28 年度の研修を受けておられない方すべてにお送りしております。

2）上記以外で参加を希望する教員

## 5. 定 員

40 名

## 6. 運営スタッフ

塩崎 俊彦（大学教育創造センター 副センター長 教授）

立川 明（大学教育創造センター 准教授）

杉田 郁代（大学教育創造センター 特任准教授）

俣野 秀典（地域協働学部／大学教育創造センター 講師）

井上 博文（学務課教育支援室総務係）

高橋 智子（学務課教育支援室総務係）

## 7. 目 的

学生の主体的な学びを引き出す授業を行うために必要となる知識や技術を体験的に学びます。

具体的には、授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程についてグループワークを通じて理解し、シラバスの作成から模擬授業の実施までを体験します。

## 8. 目 標

- 1) 適切な授業の目的・目標が設定できるようになる。
- 2) わかりやすいシラバスを書けるようになる。
- 3) さまざまな授業方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
- 4) さまざまな成績評価の方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
- 5) 学生参加型のグループ作業を自らの授業で導入することができるようになる。

## 9. 研修形態

- 1) 授業デザインやシラバスの書き方、公正な評価方法などについてミニ講義を通じて学びます。
- 2) 異なる学部の教員が、普段着で肩書きなしの対等な意見交換をすることで、学習効果を高めます。
- 3) アクティブ・ラーニングの手法を体験しながら、学びます。

## 10. その他

- 1) テキストは、当日会場でお渡しします。
- 2) 研修が長時間に渡りますので、普段着でお越しください。
- 3) 当日記録のため、カメラとビデオカメラでの撮影を行いますので了承ください。
- 4) 修了証書は、全日程に参加された方だけに授与されますので、予めご了承ください。
- 5) 参加費として、夕食代・お茶代 1,500 円を徴収いたします。また SPOD 加盟校外からの参加の方は、別途研修料が必要です。
- 6) 7:00AM 高知市に暴風警報、または特別警報もしくは避難指示が出ていたら中止とします。

## 11. お申し込み・お問い合わせ

学務課教育支援室総務係【TEL】088-844-8144【E-mail】y-spod@kochi-u.ac.jp

## 12. プログラム日程

別紙資料参照

## 13. 他大学における新任教員プログラムのご案内

- 1) 高知大学「学生の学びを支援する授業準備ワークショップ」および愛媛大学、徳島大学、香川大学で開催されている新任教員プログラムは、四国地区教職員能力開発ネットワーク（SPOD）内で標準化されており、どのプログラムを受講しても同様の効果を得ることができます。
- 2) 以下のプログラムの受講を希望される方は、各大学の申し込み先にご連絡ください。

◆愛媛大学「第28回愛媛大学授業デザインワークショップ」

【日程】7月1日（土）～7月2日（日）

【会場】いまばり湯ノ浦ハイツ（宿泊研修）

【申し込み先・問い合わせ先】愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

E-mail : oper@stu.ehime-u.ac.jp

◆愛媛大学「第29回愛媛大学授業デザインワークショップ」

【日程】8月30日（水）～9月1日（金）

【会場】愛媛大学城北キャンパス（通い型）

【申し込み先・問い合わせ先】愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

E-mail : oper@stu.ehime-u.ac.jp

◆徳島大学「授業設計ワークショップ」

【日程】6月17日（土）～6月18日（日）

【会場】徳島大学蔵本キャンパス

【申し込み先・問い合わせ先】徳島大学学務部教育支援課教育支援室

E-mail : kykikakuk@tokushima-u.ac.jp

◆香川大学 新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」

【日程】9月14日（木）～9月15日（金）

【会場】休暇村讃岐五色台（香川県坂出市）

【申し込み先・問い合わせ先】香川大学教育・学生支援室修学支援グループ

E-mail : gakusenm4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp



## 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ スケジュール

[日時] 2017年8月29日(火)・30日(水)

[会場] 高知大学 朝倉キャンパス共通教育棟3号館 1階 310番教室

| 日 程            | 時 刻               | 項 目                                                                                                       |
|----------------|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1日目<br>8/29(火) | 8:45              | 受付開始 ※7:00AM 高知市に暴風警報、または特別警報もしくは避難指示が出ていたら中止                                                             |
|                | 9:00              | <b>開会式</b><br>高知大学 大学教育創造センター センター長 小島 郷子よりご挨拶                                                            |
|                | 9:10-9:40 (30分)   | オリエンテーション                                                                                                 |
|                | 9:40-10:10 (30分)  | <b>グループワークⅠ</b> 「良い授業とは？」                                                                                 |
|                | 10:10-10:20 (10分) | 休憩                                                                                                        |
|                | 10:20-11:10 (50分) | ミニレクチャーⅠ「目標設定と授業計画、シラバスの書き方」                                                                              |
|                | 11:10-12:10 (60分) | <b>グループワークⅡ</b> 「共通教育科目の開発①(目標設定と授業計画)」                                                                   |
|                | 12:10-12:30 (20分) | ミニレクチャー「コースデザインの考え方」                                                                                      |
|                | 12:30-13:30 (60分) | 昼食 ※食堂や売店等をご利用ください。                                                                                       |
|                | 13:30-14:00 (30分) | ミニレクチャーⅡ「様々な授業形態、それぞれのメリットとデメリット」                                                                         |
|                | 14:00-14:50 (50分) | ミニレクチャーⅢ「様々な成績評価、その目的と方法」                                                                                 |
|                | 14:50-15:00 (10分) | 休憩                                                                                                        |
|                | 15:00-16:20 (80分) | <b>グループワークⅢ</b> 「共通教育科目の開発②(授業計画と評価の方法・スケジュール)」                                                           |
|                | 16:20-16:30 (10分) | 休憩                                                                                                        |
|                | 16:30-17:30 (60分) | <b>グループ発表Ⅰ</b> 「グループワーク中間報告」                                                                              |
|                | 17:30-20:00頃      | 交流会・模擬授業の準備作業<br>※ 夕食をともしながらの意見交換や懇親のための交流会があります。<br>交流会の後、翌日の模擬授業のための準備の時間をとることもできます。<br>※夕食は当方で手配いたします。 |
| 2日目<br>8/30(木) | 9:00-10:00 (60分)  | <b>グループワークⅣ</b> 「共通教育科目の開発④(最終発表準備)」                                                                      |
|                | 10:00-11:00 (60分) | <b>グループ発表Ⅱ</b> (模擬授業)                                                                                     |
|                | 11:00-12:00 (60分) | ふりかえり～今後に向けて～                                                                                             |
|                | 12:00-12:20       | <b>閉会式</b><br>・修了証書授与<br>・閉会の言葉(高知大学大学教育創造センター 副センター長 塩崎 俊彦)                                              |

# 学生の学びを支援する 授業準備ワークショップ

## 開催日

2017年  
8月29日(火)  
8月30日(水)

会 場：高知大学朝倉キャンパス共通教育棟3号館 1 階310番教室  
対象者：新任教員（大学での授業担当経験5年未満）および 新たに大学の授業を担当する教員

～お申込み～  
**平成29年8月15日（火）まで**  
宛先：裏面に記載

高知大学  
朝倉キャンパス  
共通教育棟  
3号館 1 階  
310 番教室

## 1日目

2017年8月29日(火) 9:00～20:00

1. オリエンテーション
  2. グループワーク「良い授業とは？」
  3. ミニレクチャー「目標設定と授業計画、シラバスの書き方」
  4. グループワーク「共通教育科目の開発①(目標設定と授業計画)」
  5. ミニレクチャー「コースデザインの考え方」
  6. ミニレクチャー「様々な授業形態、それぞれのメリットとデメリット」
  7. ミニレクチャー「様々な成績評価、その目的と方法」
  8. グループワーク「共通教育科目の開発②(授業計画と評価の方法・スケジュール)」
  9. グループ発表 「グループワーク中間報告」
  10. グループワーク「共通教育科目の開発③(授業の計画・指導案)」
- ※交流会あり(～20:00頃まで)

## 2日目

2017年8月30日(水) 9:00～12:00

11. グループワーク「共通教育科目の開発④(発表準備)」
12. グループ発表
13. ふりかえり～今後に向けて～

### <1日目の交流会について>

1日目に、夕食をとりながら参加者の意見交換や懇親のための交流会を設定しております。よって、1日目終了時刻は20：00頃となります。予めご了解ください。  
また、夕食代および研修中の飲料等の実費として、当日1,500円を徴収させていただきますので、ご用意くださいますようお願いいたします。

大学教育創造センターでは、授業改善や新たな授業に取り組まれる教員のために、さまざまな支援を行っています。ご相談、申込については、下段のメールアドレス宛にお願い致します。

授業改善支援プログラムのご案内／実際の授業に即して授業改善をサポートします。

学生の理解度や授業方法について、大学教育創造センター教員が学生へのヒアリングやアンケートを実施し、その結果に基づいた授業改善の方法や学生への指導方法などについて担当者とともに考えていきます。  
事前相談→アンケート・ヒアリング（第5週目）→アクションプランの検討（第6・7週目）  
→アクションプランの実施（後半の授業）→アクションプランの検証アンケート（最終授業）  
【申し込み期間】1学期の授業：5月12日（金）まで / 2学期の授業：10月27日（金）まで

グループワークのはじめ方／失敗しないための導入とチームビルディング

プロジェクト型のグループワークの授業で、学生がモチベーションを維持しながら、積極的に参加できるようになるための導入とチームビルディングについて、実際の授業を見ながらコツをつかむことができます。  
1学期（4/13・4/20 木曜日4・5時限目）、2学期（10/6・10/13 金曜日4・5時限目）

OJT対象授業（第1学期開講分）  
  
教育の方法・技術：月曜5時限  
ピア・サポートの理論と実践：木曜3時限  
自由探求学習Ⅰ：木曜4時限・5時限  
環境を考える 木曜4限  
チームワークを考える 金曜4時限

\*お申込み・お問い合わせ先  
  
高知大学 学務課教育支援室総務係  
〒780-8520  
高知県高知市曙町2丁目5-1  
Tel：088-844-8144  
E-mail：[y-spod@kochi-u.ac.jp](mailto:y-spod@kochi-u.ac.jp)

平成29年度高知大学セミナー表

| 日 時                   |                 | 場 所          | 研 修 名                                        | 担 当 教 員                            |
|-----------------------|-----------------|--------------|----------------------------------------------|------------------------------------|
| 4月7日(金)               | 9:00<br>～12:00  | 多目的<br>室     | 大学授業入門                                       | 塩崎俊彦・立川明・杉田郁代・俣野秀典<br>(大学教育創造センター) |
| 8月29日(火)<br>～8月30日(水) | 9:00<br>～12:00  | 310          | 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ                        | 塩崎俊彦・立川明・杉田郁代・俣野秀典<br>(大学教育創造センター) |
| 8月31日(木)              | 13:30<br>～15:30 | 310          | 講義に小グループ・ペア学習を取り入れた<br>授業デザイン～考え方と進め方～       | 俣野秀典<br>(大学教育創造センター)               |
| 9月5日(火)               | 10:00<br>～11:30 | 310          | 大人数講義法の基本                                    | 杉田郁代<br>(大学教育創造センター)               |
| 9月5日(火)               | 13:30<br>～15:00 | 310          | メンタルヘルス研修会－ストレスマネジメント<br>およびアンガーマネジメントの基礎知識－ | 杉田郁代<br>(大学教育創造センター)               |
| 9月6日(水)               | 9:30<br>～12:00  | 310          | はじめてみよう！アクティブ・ラーニング                          | 立川明<br>(大学教育創造センター)                |
| 9月6日(水)               | 13:30<br>～16:30 | 310          | グループワークの技法                                   | 塩崎俊彦・立川明・杉田郁代・俣野秀典<br>(大学教育創造センター) |
| 9月27日(水)              | 13:30<br>～17:30 | 物部<br>(未定)   | TA講習                                         | 立川明<br>(大学教育創造センター)                |
| 9月28日(木)<br>～29日(金)   | 10:00<br>～18:00 | 310          | ファシリテーション力養成道場                               | 俣野秀典・塩崎俊彦<br>(大学教育創造センター)          |
| 1月31日(水)              | 13:30<br>～15:00 | 310<br>(予定)  | シラバスブラッシュアップワークショップ                          | 立川明<br>(大学教育創造センター)                |
| 3月27日(火)              | 10:00<br>～12:00 | 多目的室<br>(予定) | 新任教員のためのリフレクションセミナー                          | 塩崎俊彦・立川明・杉田郁代・俣野秀典<br>(大学教育創造センター) |
| 3月27日(火)              | 13:30<br>～16:30 | 多目的室<br>(予定) | 能動的学習支援者必須！<br>グループワークのためのファシリテーション入門        | 塩崎俊彦・立川明・杉田郁代・俣野秀典<br>(大学教育創造センター) |
| 3月30日(金)              | 13:30<br>～17:30 | 142<br>(予定)  | TA講習                                         | 立川明<br>(大学教育創造センター)                |

開催場所 < (朝倉) 共通教育棟3号館1階310番教室, (朝倉) 共通教育棟1号館1階多目的室,  
(朝倉) 共通教育棟1号館4階142番教室

平成 29 年度香川大学新任教員研修会  
『第 8 回よりよい授業のための F D ワークショップ』実施要項

1. 目的

授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループワーク形式で体験し、授業実践のために必要な能力を身につけることを目的とします。

2. 対象者

・香川大学

- 1) 一昨年度から今年度にかけて新規採用された、授業担当または担当予定の教員  
(授業担当経験 3 年以上の教員、本ワークショップ受講修了者を除く)
- 2) 昨年都合により受講できなかった教員
- 3) その他参加を希望する教員

・S P O D 加盟校

参加を希望する教員

3. 日程

平成 29 年 9 月 14 日(木)～15 日(金) (1 泊 2 日)

(詳細は別紙日程表のとおり。)

4. 場所

休暇村讃岐五色台

(〒762-0015 香川県坂出市大屋富町 3042 電話 0877-47-0231)

5. 費用

研修の費用は無料です。

ただし、宿泊・食費等の実費を徴収します。(1 泊 4 食 約 12,000 円)

\*SPOD 加盟校の旅費については、各大学・短大・高専でご負担願います。

6. 修了証書

研修修了者には、修了証書を授与します。

7. 主催

香川大学 大学教育基盤センター

8. その他

この研修会は、S P O D (四国地区大学教職員能力開発ネットワーク) の研修プログラムとして、S P O D 加盟校に開放し実施します。

研修会の事務については修学支援グループ及び給与福利グループが担当します。

## 日程表プログラム日程

### 1 日目 9月14 日(木)

8:20 までに香川大学北キャンパス 正門付近に集合

(敬称略)

| 時刻          | 内容                                                      | 講師・司会  | 場所              |
|-------------|---------------------------------------------------------|--------|-----------------|
| 8:20ー9:15   | 送迎バス移動, 到着後受付                                           |        |                 |
| 9:15ー9:30   | (1) オリエンテーション<br>・開会あいさつ<br>・研修の目的・目標の確認<br>・スタッフ紹介とお願い |        | 五色台の間<br>(中会議室) |
| 9:30ー10:00  | (2) アイスブレイキング<br>・自己紹介<br>・グループワーク                      | 葛城 浩一  | 五色台の間<br>(中会議室) |
| 10:00ー10:40 | (3) グループワークⅠ<br>「学生の考える良い授業」                            | 西本 佳代  | 五色台の間<br>(中会議室) |
| 10:40ー10:50 | 休 憩                                                     |        |                 |
| 10:50ー11:40 | (4) 講義Ⅰ「シラバスの書き方」<br>・目標設定の立て方<br>・授業計画の立て方             | 葛城 浩一  | 五色台の間<br>(中会議室) |
| 11:40ー12:30 | (5) グループワークⅡ「全学共通科目の開発Ⅰ」<br>・目標設定<br>・授業計画<br>・シラバス作成   | スタッフ全員 | 五色台の間<br>(中会議室) |
| 12:30ー13:30 | 昼 食                                                     |        |                 |
| 13:30ー14:20 | (6) 講義Ⅱ「様々な授業方法」<br>・アクティブラーニングとは<br>・協同学習の技法           | 西本 佳代  | 五色台の間<br>(中会議室) |
| 14:20ー14:30 | 休 憩                                                     |        |                 |

|             |                                                     |        |                 |
|-------------|-----------------------------------------------------|--------|-----------------|
| 14:30－15:20 | (7) 講義Ⅲ「よりよい成績評価のために」<br>・成績評価の目的<br>・評価の方法と評価対象    | 佐藤 慶太  | 五色台の間<br>(中会議室) |
| 15:20－16:50 | (8) グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」<br>・授業計画と評価計画              | スタッフ全員 | 五色台の間<br>(中会議室) |
| 16:50－17:10 | 休 憩                                                 |        |                 |
| 17:10－18:30 | (9) グループ発表Ⅰ「中間発表」<br>・授業計画のプレゼン 5分×3<br>・質疑応答 10分×3 | 石井 知彦  | 五色台の間<br>(中会議室) |
| 18:30－19:30 | 夕 食                                                 |        |                 |
| 19:30－21:00 | (10)グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」<br>・授業計画案作成                | スタッフ全員 | 五色台の間<br>(中会議室) |
| 21:00～22:00 | 懇親会・入浴・自由時間                                         |        | 赤峰の間            |

2日目 9月15日(金)

| 時刻          | 内容                                                                | 講師・司会  | 場所              |
|-------------|-------------------------------------------------------------------|--------|-----------------|
| 7:30—8:00   | 朝食                                                                |        |                 |
| 8:00—10:00  | (11)グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅳ」<br>・役割決定<br>・授業の練習                       | スタッフ全員 | 五色台の間<br>(中会議室) |
| 10:00—12:00 | (12)グループ発表Ⅱ「最終発表」<br>・授業紹介 5分<br>・ミニ授業 15分<br>・討議・検討 10分          | 高橋 尚志  | 五色台の間<br>(中会議室) |
| 12:00—12:30 | (13)閉会式<br>・グループ作業の振り返り(学んだことは何か?どう実践に活かすか?)<br>・修了証書授与<br>・閉会の言葉 |        | 五色台の間<br>(中会議室) |
| 12:30—13:00 | 昼食(研修の振り返り)                                                       |        |                 |

13:00 写真撮影・送迎バスにて香川大学まで・解散



# ファカルティ・ディベロッパー養成講座 & SDコーディネーター(SDC)養成講座

2017. 10. 13 FRI → 15 SUN

**会 場**／芝浦工業大学 芝浦キャンパス  
(東京都港区芝浦3-9-14)

**参加費**／無料

**主 催**／愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
(教職員能力開発拠点)  
芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター  
(理工学教育共同利用拠点)

**後 援**／日本高等教育開発協会 ※ファカルティ・ディベロッパー養成講座のみ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室(教職員能力開発拠点)は、全国の高等教育機関の発展のため、FD/SD/IRの専門家・実践的指導者の養成に取り組んでいます。今回は芝浦工業大学との合同で、東京で開催します。全国の皆様のご参加をお待ちしております。



## ファカルティ・ディベロッパー養成講座

### ■参加対象者

高等教育機関で1年以上FDを担当している教職員

先着  
50名

※3日間の参加が可能な方のみとなります。  
全プログラムの受講者には修了証をお渡しします。  
※所属機関でのFD活動事例を使ったワークがあるため、FD業務の経験のない方及び民間企業等に勤務されている方の参加はお断りしております。  
※多くの機関の方々にご参加いただくため、同一機関からの申し込みが多数の場合は、全体のお申し込み状況により受講を制限させていただくことがあります。

## SDコーディネーター養成講座

### ■参加対象者

SDを担当する教職員  
SDコーディネーターに関心のある教職員

先着  
30名

※3日間の参加が可能な方のみとなります。  
全プログラムの受講者には修了証をお渡しします。  
※民間企業等に勤務されている方の参加はお断りしております。  
※多くの機関の方々にご参加いただくため、同一機関からの申し込みが多数の場合は、全体のお申し込み状況により受講を制限させていただくことがあります。



# ファカルティ・ディベロッパー養成講座

■実施目的：FDを企画・実施する立場にあるファカルティ・ディベロッパーに求められる基礎的な知識・技能・態度を育成すること。

## 到達目標

- ① 所属する機関においてなぜFDが必要なのかを説得力をもって説明できる
- ② 所属する機関のFD活動を振り返り、特徴と課題を抽出することができる
- ③ FDのさまざまな場面で求められる課題解決の方法を提案することができる
- ④ FDに関する多様な考え方や実践事例を尊重し、共に学びあう雰囲気に貢献する
- ⑤ 他機関のファカルティ・ディベロッパーと友好的なネットワークを構築する



## スケジュール

### [1日目] 10月13日(金)

- 12:30 受付開始  
13:00 オープニング [小林直人]  
13:10 オリエンテーション [小林忠資]  
※SDC養成講座と合同開催  
13:30 FDを理解する [佐藤浩章]  
14:15 FDを設計する [中井俊樹]  
15:15 所属大学のFD活動の振り返り [榎原暢久]  
16:00 研修を運営する [中井俊樹]  
17:00 終了  
18:00 情報交換会(参加任意/会費4,000円)  
※SDC養成講座と合同開催

### [2日目] 10月14日(土)

- 9:30 授業コンサルティングを運営する [小林忠資]  
10:00 学生参画型FDを運営する [ホートン広瀬恵美子]  
10:30 ティーチングポートフォリオを取り入れる [榎原暢久]  
11:00 カリキュラムを改革する [佐藤浩章]  
12:00 ランチタイム  
13:00 イベント「Q&Aで学ぶFD」 [小林忠資]  
14:00 組織開発につながるFDを実施する [小林直人]  
15:00 休憩  
15:15 ファカルティ・ディベロッパーとして成長する [榎原暢久]  
16:00 FDの企画案を作成する [佐藤浩章]  
17:30 終了

### [3日目] 10月15日(日)

- 9:30 FDの企画案を作成する [佐藤浩章]  
12:00 ランチタイム  
13:00 FDの企画案の発表と共有 [佐藤浩章]  
14:30 クロージング [小林直人]  
※SDC養成講座と合同開催  
15:00 終了

## お申し込み

定員人数に到達次第、募集を締め切ります。  
お早めにお申し込みください。

下記のサイトからお申し込みください。

<http://web.opar.ehime-u.ac.jp/>

- 受付開始：平成29年7月20日(木) 正午  
■ 申込締切：平成29年8月8日(火) 正午

※受付完了後、確認メールを送信します。

※いただいた情報は本講座以外に使用することはありません。

※ホームページから申し込みができない場合は、下記までメールでご連絡ください。

- 宛先/kiyoiku@stu.ehime-u.ac.jp  
■ メール件名/FDer養成講座申込み(氏名〇〇〇〇)

先着  
50名

## 事前課題

自大学で実施されているFDを紹介する資料を作成してください。

(資料には、①FDの概要、②FDの特徴、③FDの課題を含めてください。図表や写真などを入れることもできます。1枚目に大学名および氏名を記し、2枚以内でまとめてください。PDFもしくはワードファイルにして下記の提出先に添付で送付してください。)

■提出期限/平成29年9月15日(金)

■提出先/kiyoiku@stu.ehime-u.ac.jp

## 持参物

3日目の研修で使用するので、ノートパソコンをご持参ください。

※会場の都合上、充電済みのものをご持参いただきますよう、ご協力をお願いします。

# SDコーディネーター養成講座

■実施目的：職員の能力開発（SD）の実践的指導者（SDコーディネーター／SDC）になるため、その役割や求められる能力を理解し、実際のSD推進に活用できる具体的手法を身につけることを目的としています。

## 到達目標

- ① 人材育成ビジョンの必要性を説明することができる
- ② 自大学における人材育成ビジョンを策定するために、その構築手法を修得することができる
- ③ 自らのキャリアを開発するために、スタッフ・ポートフォリオ（SP）を作成することができる
- ④ 職員のキャリア開発を支援するために、メンタリングを行うことができる
- ⑤ SDの実践力を身につけるために、SDプログラムを企画・運営・評価することができる
- ⑥ SDに関する多様な考え方や経験を尊重し、共に学び合う雰囲気をつくること



## スケジュール

### [1日目] 10月13日(金)

- 12:30 受付開始  
13:00 オープニング [小林直人]  
13:10 オリエンテーション [小林忠資]  
※ファカルティ・ディベロッパー養成講座と合同開催  
13:30 SD, SDCについて理解する [清水栄子]  
14:00 人材育成ビジョンの必要性について理解する [吉田一恵]  
14:30 組織の人材育成ビジョンワークショップ [吉田一恵]  
17:00 終了  
18:00 情報交換会（参加任意／会費4,000円）  
※ファカルティ・ディベロッパー養成講座と合同開催

### [2日目] 10月14日(土)

- 9:30 SP, メンタリングの導入事例及びその有効性について [河野太志]  
10:30 メンタリングを実践する [鎌田雅子]  
12:00 休憩  
13:00 個人のビジョン作成ワークショップ [鈴木 洋]  
14:30 休憩  
14:40 SDプログラムを企画・運営する [丸山智子]  
15:50 休憩  
16:00 SDプログラムを評価する [清水栄子]  
17:00 SDプログラムを開発する [丸山智子]  
17:30 終了

### [3日目] 10月15日(日)

- 9:30 SDプログラムを開発する [丸山智子]  
12:00 休憩  
13:00 SDプログラム発表と共有 [丸山智子]  
14:00 振り返り  
14:30 クロージング [小林直人]  
※ファカルティ・ディベロッパー養成講座と合同開催  
15:00 終了

## お申し込み

定員人数に到達次第、募集を締め切ります。  
お早めにお申し込みください。

下記のサイトからお申し込みください。

<http://web.opar.ehime-u.ac.jp/>

■受付開始：平成29年7月20日（木）正午

■申込締切：平成29年8月8日（火）正午

※受付完了後、確認メールを送信します。

※いただいた情報は本講座以外に使用することはありません。

※ホームページから申し込みができない場合は、下記までメールでご連絡ください。

■宛先／kiyoiku@stu.ehime-u.ac.jp

■メール件名／SDC養成講座申込み（氏名〇〇〇〇）

先着  
30名

## 事前課題

- ①スタッフ・ポートフォリオ ※受付完了後、様式をお送りします。
- ②自大学で実施している『新任職員に対する研修』の実施要項（受講者間で共有可能なもの）をPDFデータ（A4用紙5枚まで）で提出してください。該当するものがない場合は、職員に対する何らかの研修の実施要項で結構です。  
※資料の1枚目右上に、大学名及び氏名をご記入ください。

■提出期限／平成29年9月15日（金）

■提出先／kiyoiku@stu.ehime-u.ac.jp

## 持参物

事前課題で提出いただいたスタッフ・ポートフォリオ2部 ※研修会当日メンタリングを実施する際に使用します。



|                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                          |                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>FDer養成講座</p>  <p>小林 直人<br/>(教職員能力開発拠点代表)<br/>愛媛大学<br/>学長特別補佐<br/>教育企画室長・教授</p> | <p>FDer養成講座</p>  <p>佐藤 浩章<br/>(日本高等教育開発協会副会長)<br/>大阪大学<br/>全学教育推進機構<br/>准教授</p> | <p>FDer養成講座</p>  <p>榎原 暢久<br/>芝浦工業大学<br/>教育イノベーション推進<br/>センター／工学部<br/>教授 (SDC)</p> | <p>FDer養成講座</p>  <p>ホートン広瀬恵美子<br/>芝浦工業大学<br/>教育イノベーション推進<br/>センター／建築学部<br/>教授</p> | <p>FDer養成講座</p>  <p>中井 俊樹<br/>愛媛大学<br/>教育企画室<br/>副室長・教授<br/>(SDC)</p> | <p>FDer養成講座</p>  <p>小林 忠資<br/>愛媛大学<br/>教育企画室<br/>特任助教</p> |
| <p>SDC養成講座</p>  <p>清水 栄子<br/>愛媛大学<br/>教育企画室<br/>講師<br/>(SDC)</p>                  | <p>SDC養成講座</p>  <p>丸山 智子<br/>愛媛大学<br/>教育企画室<br/>特任助教<br/>(SDC)</p>              | <p>SDC養成講座</p>  <p>吉田 一恵<br/>愛媛大学<br/>教育学生支援部<br/>愛媛大学SD統括コ<br/>ーディネーター (SDC)</p>  | <p>SDC養成講座</p>  <p>河野 太志<br/>愛媛大学<br/>教育学生支援部<br/>教育企画課 副課長</p>                   | <p>SDC養成講座</p>  <p>鈴木 洋<br/>芝浦工業大学<br/>教育イノベーション推進<br/>センター事務課 課長</p> | <p>SDC養成講座</p>  <p>鎌田 雅子<br/>明星大学<br/>学生サポート<br/>センター</p> |

### 教職員能力開発拠点 (愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室)

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室は、平成22年3月に文部科学大臣から教育関係共同利用拠点（拠点名称：教職員能力開発拠点）に認定され（認定期間5年）、平成26年7月には、さらに5年間の再認定を受けました。教職員能力開発拠点では、FD/SD/IRの専門性の高い指導者の育成、長期的なコンサルテーションを通じた各組織の自律的な教育改善の支援を始め、研修講師の派遣や独自で開発したFD/SD研修プログラムを提供など、幅広い取組を行っています。

### 理工学教育共同利用拠点 (芝浦工業大学教育イノベーション推進センター)

芝浦工業大学教育イノベーション推進センターは、理工学教育のモデル構築とその基本的な枠組みおよび教育手法を国内に浸透させる拠点として、文部科学大臣より教育関係共同利用拠点（大学の教員・職員の組織的な研修等の実施機関）の認定を受けました（認定期間：平成28年7月29日～平成31年3月31日）。私立大学では2校目の認定となります。これにより、本学が目指している理工学教育のモデル構築に向けて、より活発な取り組みとなることが期待されています。

### 会場アクセス 芝浦工業大学 芝浦キャンパス

「田町駅」より徒歩3分、「三田駅」より徒歩5分



### ■ お問い合わせ先

愛媛大学教育学生支援部教育企画課

TEL: 089-927-9154

E-mail: kiyoiku@stu.ehime-u.ac.jp

### ■ 当日のお問い合わせ先

芝浦工業大学教育イノベーション推進センター事務課

TEL: 048-687-5049